

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F C E  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 川 淳 悦  
(コード番号：9564 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 IR オ フ ィ サ ー 多 氣 頌 絵  
(TEL 03-5908-1400)

## 中国銀行とビジネスマッチング契約、 瀬戸内経済圏を中心とした地域企業の AI 推進を支援 ～ AI を“使える”だけで終わらせない、 “成果を出し広げる”まで育てる F C E の AI 組織活用研修・コンサルティング～

株式会社 F C E（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：石川淳悦、証券コード：9564）は、株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ（本社：岡山市北区、取締役社長（代表取締役）：加藤貞則、証券コード：5832）の 100%子会社である株式会社中国銀行とビジネスマッチング契約したことをお知らせします。本提携により、瀬戸内経済圏を中心とした地域企業の AI 活用推進を支援するため、「AI 組織活用研修・コンサルティング」、AI プラットフォーム「AI OMNI AGENT」の提供を開始します。

### ・提携の背景：人財育成の実績×AI 活用支援で、瀬戸内経済圏を中心とした地域の DX 推進を加速

昨今、生成 AI をはじめとする技術革新により業務効率化への関心が高まる一方、地域に根差した企業においては首都圏と比べて「AI 活用が進まない、浸透しない」という課題も垣間見えます。調査によると、「都市部（東京・大阪・名古屋）では約 24%の企業が AI を複数部署で積極的に活用しているのに対し、地方ではわずか 6%にとどまる」と、地域間で「AI 活用の差」が生じている可能性が示唆されています。

（※1）多くの経営者・管理職が「AI を活用したいが、何から手をつけるべきか分からない」「社員が使いこなせず、一部の活用にとどまっている」といった悩みを抱えていると考えられます。

AI を導入し、活用し、そして成果につなげるには、ツール導入だけでなく、社員の AI リテラシー向上から実務への組み込み、継続的な定着支援までを一貫して行うことが不可欠です。こうした背景から、人財育成と AI ツール・研修などの包括的な研修力・伴走力を有する当社が、株式会社中国銀行との提携を通じて、中国地方の企業様が安心して AI を活用できる環境を強力に支援してまいります。



当社はこれまで、企業向け「7つの習慣®」研修 Business Ownership や人財育成プラットフォーム「Smart Boarding」など、幅広い業界・業種の企業様の組織開発や人財育成を支援してきました。長年培ってきた「人の行動変容」や「組織への定着化」を促す教育事業の豊富な実績とノウハウがあるからこそ、AI 領域においても、単なる知識提供にとどまらず、現場に定着し成果を出すまでの伴走支援が可能となります。2026 年 5 月には、この教育ノウハウを結集し、AI 理解・活用・定着化を一気通貫で支援する「AI 組織活用研修・コンサルティング」の提供を開始しました。

このたび、地域企業の成長を支える中国銀行との提携により、瀬戸内経済圏を中心とした地域において AI 活用推進と持続的な成長を「教育×AI」の力で本格的に支援してまいります。

## ・今後の展開

当社は全国の地方銀行グループとのパートナーシップを強化し、地域企業の AI 活用をさらに推進していきます。「AI 組織活用研修・コンサルティング」の導入が広がることで、単なる業務効率化にとどまらず、地域企業が直面する人手不足や生産性向上といった課題の解決を後押しし、持続可能な地域経済の発展に貢献してまいります。

## ・ AI 組織活用研修・コンサルティングとは

AI 活用を、全員が業務で使いこなすへ。FCE の AI 研修は、AI をただ“使える”人ではなく、業務に“組み込み・広げられる”人を育てる、実践型の育成プログラムです。

お問い合わせ／資料請求 は [こちら](#)

無料オンラインセミナーは [こちら](#)

## AI活用を、全員が業務で使いこなすための実践型研修プログラム



|    |                      |                                                                                                                                            |                                                                    |                                                                                                                                             |
|----|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 00 | AI体験研修サービス<br>まず体験する | <b>こんな方におすすめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AIをまず体験したい</li> <li>・ 全社研修の検討材料にしたい</li> </ul>                                   | <b>研修内容</b><br>AIの仕組み、リスク、種類、できることを体験型ワークで広く深く学ぶ                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回5～10名</li> <li>・ 4時間研修</li> </ul>                                                                |
| 01 | AISスキル研修<br>使えるようになる | <b>こんな方におすすめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AIで何ができるか知りたい</li> <li>・ リスク・セキュリティを理解したい</li> <li>・ AIエージェントを作りたい</li> </ul>    | <b>研修内容</b><br>AIの種類・リスク・活用法をハンズオン形式で体系的に習得する                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5時間研修×3日間</li> </ul> <div>助成金を活用できる可能性有<br/>(最大75%助成)</div>                                        |
| 02 | 伴走型研修<br>業務に組み込む     | <b>こんな方におすすめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社の業務課題を見出し、AIを活用して課題解決したい</li> </ul>                                            | <b>研修内容</b><br>業務洗い出しワークを通じて自社で活用できるAIエージェントを制作し、発表共有してナレッジとして蓄積する | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4時間研修×4か月</li> </ul>                                                                               |
| 03 | 推進者養成研修<br>教える・広げる   | <b>こんな方におすすめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの社員に研修を受けてほしいため、コンテンツを使い、自社で研修を実施できる状態にしたい</li> </ul>                          | <b>研修内容</b><br>スマートボーディングと連携し、リテラシー研修や伴走研修を自社で実施できるFTを養成する         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4時間研修×4か月</li> </ul>                                                                               |
| 04 | eラーニング講座<br>定着を後押しする | <b>こんな方におすすめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとまった研修時間を取りにくい</li> <li>・ 個々人のペースで体系的に学びたい</li> <li>・ 全員が学べる環境をつくりたい</li> </ul> | <b>研修内容</b><br>入門編：基礎リテラシーの習得<br>実践編：業務効率化と問題解決<br>発展編：実践力のさらなる向上  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各編10時間＋レポート</li> <li>・ 全3編＝計30時間</li> </ul> <small>※10時間×3か月＝計30時間、各編の視座可能期間が1か月のコースになります。</small> |

【00】 まず体験する

【01】 使えるようになる

【02】 業務に組み込む

【03】 教える・広げる

【04】 定着を後押しする

#### ・株式会社中国銀行

創立：1930 年（昭和 5 年）12 月 21 日

取締役頭取：加藤 貞則

本社：岡山市北区丸の内 1 丁目 15 番 20 号

店舗数：135 か店（本店、国内支店 122、出張所 5、特別出張所 5、海外 2）

上記のほか、店舗内店舗方式の支店を 31 か店、同方式の出張所を 2 か店、インターネット支店を 1 か店それぞれ配置しております。事務所 1（東京）、海外駐在員事務所 3（ニューヨーク、上海、バンコク）、店舗外現金自動設備 193 か所（215 台）

URL：<https://www.chugin.co.jp/>

#### ・株式会社 F C E

設立：2017 年 4 月 21 日

代表取締役社長：石川淳悦

証券コード：9564

本社：東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 9 階 10 階

事業内容：DX 推進事業、教育研修事業、出版事業

URL：<https://fce-hd.co.jp/>

当社は「チャレンジあふれる未来をつくる」というパーパスのもと、人的資本の最大化に貢献することを使命とし、DX 推進事業と教育研修事業を展開しています。

【最強の IT ツール】として約 7,300 製品中第 1 位（※2 2024 年度には約 10,000 製品中、第 2 位※3）を獲得した「ロボパット AI（<https://fce-pat.co.jp/>）」、社員教育を一つで完結できる定額制オンライン教育システム「Smart Boarding（<https://smartboarding.net/>）」、世界 5,000 万部、国内 270 万部発刊の世界的ベストセラー『7つの習慣』の出版（<https://fce-publishing.co.jp/>）、そして企業の生産性を進化させる AI プラットフォーム「AI OMNI AGENT（<https://www.fce-aiomniagent.com/>）」、など中小企業から大企業まで、また全国の自治体や教育機関を対象に幅広く事業を展開しています。

※1 ラグザス株式会社「企業の AI 活用格差調査」（2026 年 5 月）

※2 ITreview Best Software in Japan2023 より

※3 ITreview Best Software in Japan2024 より